

1. 実施概要

事業目的

- ✓ 利用者が激減している公共交通について、多くの人が利用する“きっかけ”をつくり、公共交通の利用促進を図るため、令和4年度から実施。
- ✓ 更なる効果発現を目指し、令和6年度は取組範囲を熊本連携中枢都市圏に拡大して実施。

実施日

令和6年12月21日(土)

参加事業者

九州産交バス・産交バス・熊本電鉄(バス・電車)・熊本バス・熊本都市バス・熊本市交通局他

対象路線

- ✓ 参加事業者が運行する路線のうち、一部でも連携中枢都市圏域を運行する路線(一部例外あり)
- ✓ 一部のコミュニティ交通

※本資料では以下の通り定義する

「電車」: 熊本電鉄電車・熊本市交通局(熊本市電)

「バス」: 九州産交バス・産交バス・熊本電鉄バス・熊本バス・熊本都市バス

▼当日の利用状況

(熊本駅前バス停)



(桜町バスターミナル)



▲令和6年度「バス・電車無料の日」チラシ



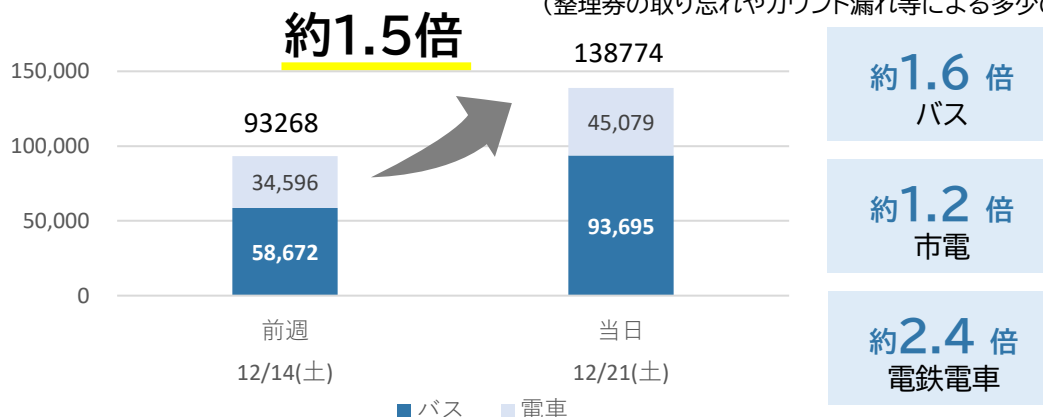
▲熊本連携中枢都市圏域

2. 実施結果

- ✓ 当日の公共交通利用者数は通常時の約1.5倍増。
- ✓ 公共交通の運賃を無料としたことをきっかけに、多くの方に公共交通をご利用いただいたと認識。
- ✓ 他方、当事業に関するアンケートでは、公共交通を利用したくなる要因として、「便数の増加」や「定時性の向上」などが多く挙げられており、当事業のような「運賃の割引」のみならず、運行サービスの向上が求められていることが読み取れる。

当日の公共交通利用者数(前週比較)

※出典: 交通事業者提供資料
 ※利用者数は、次の方法により把握
 バス・電鉄電車: 整理券の取得枚数
 市電: 降車した者の数を運転手がカウント
 (整理券の取り忘れやカウント漏れ等による多少の誤差あり)

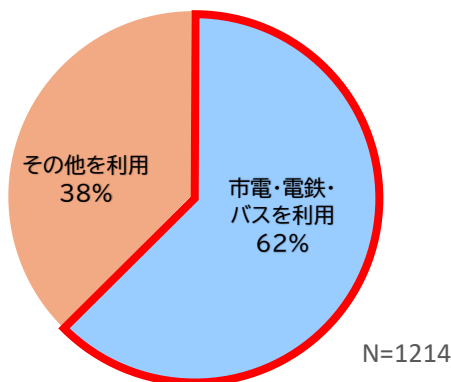


※出典: 令和6年度「バス・電車無料の日」webアンケート(回答数: 1588件)

調査期間: 令和6年12月21日(土)～令和7年1月31日(金) 調査手法: 熊本連携中枢都市圏市町村のHP及び各種SNSにてアンケートリンクを掲載

無料の日当日の交通手段

回答対象: R6.12.21(無料の日当日)に外出した者



公共交通を利用したくなる要因

問: どうすれば、これまで以上に公共交通を利用したいと思うか。
 または、どうしたら利用が増えると思うか(複数回答可)

